

平成30年度社会福祉法人常陽社会福祉事業団事業報告書

平成31年3月31日現在

1 事業の概要

老人福祉法の理念に基づき、急速に進む高齢社会が健全な環境のもとで施設を利用できるように、処遇改善や職員の資質の向上に努めながら、次の事業を行った。

(1) 常陽社会福祉事業団の事業目的

常陽社会福祉事業団は、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の事業を行った。

ア 第一種社会福祉事業

- (ア) 養護老人ホーム清風園の経営
- (イ) 養護老人ホーム望峰園の経営
- (ウ) 特別養護老人ホーム白寿園の経営

イ 第二種社会福祉事業

- (ア) 西岳デイサービスセンターの経営
- (イ) 庄内デイサービスセンターの経営
- (ウ) 横市デイサービスセンターの経営
- (エ) 老人短期入所事業 白寿園の経営
- (オ) 老人短期入所事業 庄内の里の経営
- (カ) 訪問介護事業 望峰の経営
- (キ) 生計困難者に対する相談支援事業 (みやざき安心セーフティネット事業)

ウ 公益事業

- (ア) 居宅介護支援事業所 ケアプランサービスゆう
- (イ) 特定施設入居者生活介護事業所 清風園
- (ウ) 都城市志和池・庄内・西岳地区地域包括支援センター

(2) 役員等に関する事

現役員・評議員 (退任者及び就任者なし)

役職	定数	氏名
理事	6名	横山 成保 (理事長) 立山 静夫、野口 和行、湊上 澄雄、根井 勝泰、馬渡 久続
監事	2名	田中 瑞生、大河原 弘子
評議員	10名	姉川 淑子、原田 誠一郎、瓦田 節子、大橋 正敏、坂元 和雄 薬丸 良英、徳留 次男、中村 敏郎、馬籠 英男、本村 順吉

(3) 理事会・評議員会の開催状況に関すること

平成30年度理事会及び評議員会において、次の事項について決議した。

【理事会】

開催日	議案	結果
平成30年第2回 平成30年6月5日(火) 理事6名、監事1名	④ 平成29年度事業報告について ⑤ 平成29年度理事長の職務執行状況報告について ⑥ 平成29年度事業団会計決算報告について ⑦ 都城市創生館の譲渡について ⑧ 事業団定款の一部改正について ⑨ 事業団評議員会の招集等について	可決 可決 可決 可決 可決 可決
平成30年第3回 平成30年8月31日(金) 理事6名、監事2名	決議の省略 ⑩ 小規模多機能型居宅介護施設の施設整備について (都城市創生館の跡地利用)	可決
平成30年第4回 平成30年12月13日(木) 理事5名、監事2名	⑪ 平成30年度事業団会計補正予算(第1号)について ⑫ 事業団定款の一部改正について ⑬ 定款細則の一部改正について ⑭ 職員就業規則の一部改正について ⑮ 給与規程の一部改正について ⑯ 資格取得支援規程の一部改正について ⑰ 事業団評議員会の招集等について 報② 小規模多機能型居宅介護施設の入札結果の報告 報③ 理事長の職務執行状況の報告について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 承認 承認
平成31年第1回 平成31年3月7日(木) 理事6名、監事1名	① 経理規程の一部改正について ② 職員就業規則の一部改正について ③ 職員の育児休業等取扱規程の一部改正 ④ 給与規程の一部改正について ⑤ 平成30年度事業団会計補正予算(第2号)について ⑥ 平成31年度事業団経営方針及び事業計画について ⑦ 平成31年度事業団会計予算について ⑧ 事業団評議員会の招集等について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決

【評議員会】

平成30年第2回 平成30年6月21日(木) 評議員9名、監事1名	④ 平成29年度事業報告について ⑤ 平成29年度事業団会計決算報告について ⑥ 都城市創生館の譲渡について ⑦ 事業団定款の一部改正について	可決 可決 可決 可決
---	--	----------------------

平成 30 年第 3 回 平成 30 年 12 月 25 日 (火) 評議員 8 名、監事 0 名	⑧ 平成 30 年度事業団会計補正予算 (第 1 号) について ⑨ 事業団定款の一部改正について ⑩ 定款細則の一部改正について ⑪ 役員等の報酬等に関する規程の一部改正について ⑫ 小規模多機能型居宅介護施設の入札結果の報告等	可決 可決 可決 可決 可決
平成 31 年第 1 回 平成 31 年 3 月 19 日 (火) 評議員 8 名、監事 1 名	① 平成 30 年度事業団会計補正予算 (第 2 号) について ② 平成 31 年度事業団経営方針及び事業計画について ③ 平成 31 年度事業団会計予算について	可決 可決 可決

(4) 内部監事監査に関すること

平成 30 年 5 月 29 日 (火) に当法人の監事による平成 29 年度事業報告及び決算諸表の監査を実施した。

(5) 職員配置状況 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

(単位:人)

	本部	清風園	望峰園	白寿園		デイサービス			包 括	合計	割合 %
				白寿園	ゆう	西岳	庄内	横市			
第 1 号職員	2	14	9	27	2	2	1	1	3	61	31.7%
第 2 号職員	0	3	1	22	2	2	1	4	2	37	19.2%
第 3 号職員	0	5	2	0	2	0	1	0	1	11	5.7%
第 4 号職員	0	9	14	8	0	1	4	2	2	40	20.8%
第 5 号職員	1	9	3	15	0	1	2	0	0	31	16.1%
第 6 号職員	0	0	2	4	0	2	1	2	1	12	6.2%
合計	3	40	31	76	6	8	10	9	9	192	100%
				82							

2 本部事務局の実施状況

事務局は業務が円滑に運営できるように次のことを行った。

(1) 事業団の諸規程を現状に即したものに改正した。

<改正、制定及び廃止した規程、規則及び要綱>

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団定款」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団定款細則」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団職員就業規則」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団職員の育児休業等取扱規程」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団給与規程」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団経理規程」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業資格取得支援規程」の制定

(2) 職員の処遇改善に努め事業団運営と管理が円滑にできるよう努めた。

- (3) 事業団の計画的かつ効率的な執行を図るため、事業団運営の最高方針及び重要施策の審議並びに各事業所間相互の最終的な総合調整を行うために毎月経営会議を行った。
- (4) 経営会議の円滑かつ適正な運営を図るため、事前に調査又は検討を行い経営会議に付議すべき事案を定めるとともに、各事業所相互の意思疎通を図るための意見交換及び情報交換を行うため毎月課長会議を行った。
- (5) 福祉関係団体等が実施する研修会及び他の施設等が実施する研修に積極的に職員を参加させるとともに施設においても自主研修を実施した。
- (6) 職員の定期昇給を行った。4/1
- (7) 職員の定期人事異動を行った。4/1
- (8) 清風園嘱託医変更届を届出した。4/4
- (9) 職員就業規則変更届を労働基準監督署へ提出した。4/4
- (10) 清風園及び望峰園に衛生推進者を選任し職員へ周知した。4/5
- (11) 職員定期人事異動による諸変更届を届出した。4/5
- (12) 障害者雇用調整金の申告申請を高齢・障害・求職者雇用支援機構へ行った。4/17
- (13) 平成 29 年度介護福祉士養成支援事業報告書を県長寿介護課に提出した。4/17
- (14) 労働災害再発防止対策書を労働基準監督署に提出した。4/26
- (15) エリアネットワーク会議へ出席した。5/17
- (16) 飯田税理士顧問による決算書確認。5/22
- (17) 平成 29 年度事業団会計監事監査を行った。5/29
- (18) 都城市創生館の譲渡契約を都城市と締結した。6/30
- (19) 都城市創生館の土地の所有権登記を行った。6/7
- (20) 宮崎労働局へ高齢者・障がい者雇用状況「6・1 調査」を報告した。6/8
- (21) 日本財団へ実績報告書を提出した。6/8
- (22) 協会けんぽ「健康宣言事業所」として登録する。6/14
- (23) 包括支援センター運営事業の委託継続説明会に参加する。6/26
- (24) 財務諸表等電子開示システムによる「現況報告書」・「決算書」・「社会福祉充実残額算定シート」を届け出た。6/27
- (25) 定款変更認可申請書及び定款変更届を都城市に提出した。6/27
- (26) 社会福祉法人資産の総額変更登記を行った。6/27
- (27) 福祉医療機構へ事業報告書を報告した。6/28
- (28) 日本財団福祉車輛助成に申請を行った。6/25
- (29) 算定基礎届・月額変更届を提出した。7/2
- (30) 平成 29 年度介護職員処遇改善加算実績報告書を提出した。7/2
- (31) 都城市へ第三セクター状況調査を提出した。7/3
- (32) 社会福祉法人経営者協議会セミナーに参加した。7/4
- (33) 平成 30 年度職員採用試験（社会福祉士）を行った。7/5
- (34) 平成 30 年度介護福祉士養成支援事業を申請し交付が決定された。7/11

- (35) 都城税務署へ公益法人等の損益計算書等を提出した。7/10
- (36) 定款変更登記を行った。7/25
- (37) 全事協九州ブロック会議に参加する。7/12
- (38) リワーク支援説明会に参加した。7/24
- (39) 小規模多機能型居宅介護施設の先進地見学を行った。8/1
- (40) 第2回新任者研修を行った。8/2
- (41) 望峰園の指定更新申請を行った。8/3
- (42) 西日本豪雨災害義援金を募り全老協へ送った。8/17
- (43) 都城市志和池・庄内・西岳地区地域包括支援センターの更新申請を行った。8/20
- (44) 4月1日付採用職員試用期間の勤務評定を行った。9/1
- (45) 平成30年度職員採用試験（介護職員）を行った。9/8・9/11・9/22
- (46) 法人全体研修「精神疾患の対応の仕方」を行った。9/12
- (47) 全事協に現況届を提出した。9/25
- (48) 都城市の小規模多機能型居宅介護事業に応募した。9/27
- (49) 職員提案制度を実施した。10/1
- (50) 平成30年10月1日付辞令を交付した。10/1
- (51) 全国社会福祉事業団協議会九州ブロック会議に出席した。10/4
- (52) ストレスチェックを実施した。
- (53) 平成30年度最低賃金保障により改定を行った。10/5
- (54) 全事協九州ブロック職員研修会に職員を参加させる。10/4～5
- (55) 厚労省の「若者雇用促進総合サイト」に魅力的な企業として登録される。10/4
- (56) 都城市による法人指導監査を受審する。10/11
- (57) 全事協全国大会に施設長を参加させる。10/18～19
- (58) 平成30年11月1日付辞令を交付した。11/1
- (59) プロポーザル方式による指名競争入札を実施した。11/1
- (60) 平成30年度法人全体研修（事例発表）を行った。11/15
- (61) 平成30年12月1日付辞令を交付した。12/1
- (62) 全職員に対し職員勤務評定を行った。12/1
- (63) 赤い羽根共同募金（職域共同募金）を行った。12/10
- (64) 課長級及び事務職員に対し規程等の改正について説明会を開催した。12/21
- (65) 女性活躍推進法に基づく「一般事業主行動計画」を策定し公表した。12/27
- (66) 平成31年1月3日付辞令を交付した。1/3
- (67) 平成31年1月4日付辞令を交付した。1/4
- (68) 定款変更認可申請書を都城市に提出した。1/8
- (69) 職員就業規則変更届を労働基準監督署へ提出した。1/9
- (70) 事業団職員内部登用試験を行った。1/22
- (71) 給与所得等報告を都城税務署及び各市町村へ提出した。1/18
- (72) 定款変更登記を行った。1/23

- (73) 平成31年2月1日付辞令を交付した。2/1
- (74) 建物標題変更登記を行った。2/5
- (75) 全職員から自己申告書を提出させ意向等を伺った。2/12
- (76) 女性活躍推進法による「えるぼし」に宮崎県では2例目に認定される。3/7
- (77) 社会福祉充実計画による職員処遇改善事業として一時金を支給した。3/8
- (78) 都城市へ第三セクター調査を回答した。3/11
- (79) 14名の有期契約労働者から無期労働契約転換申込があり受理通知書を通知し、平成31年4月1日から無期雇用となる。3/14
- (80) 次世代育成法に基づく「一般事業主行動計画」を策定し公表した。3/15
- (81) 女性活躍推進法による「えるぼしマーク」の認定式に出席した。3/26
- (82) 平成31年3月31日付辞令を交付した。3/29

1 事業概要

入居者がその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように努め、入居者の人格及び意思を尊重し、一人ひとりのニーズに応じた処遇計画を策定し、その計画に基づき自立のために必要な相談および支援を行った。

また、入居者が要介護状態になった場合でも適切な介護サービスを提供し、安心・安全な日常生活を営めるよう努めた。

そして、地域の関係団体等と連携を図り、地域における住民福祉のセンター的役割を果たせるよう施設機能の地域社会貢献に努めた。

(1) 生活相談・支援

- ① 入居者の心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、入居者および家族に対して適切な相談・助言を行うとともに必要な支援を行った。
- ② 入居者がお互いに労わり合い、思いやりのある人間関係のもとに、楽しく充実した生活を送れるよう支援した。
- ③ 「自分で出来る事は自分でする」ことを生活の基本に、入居者の適性に応じたクラブ・行事等への参加を促し、融和を図りながら生き甲斐づくりの活動支援を行った。

(2) 健康管理

- ① 毎朝、ラジオ体操・棒体操を実施し、レクリエーション・グラウンドゴルフ等を定期的実施することにより健康の維持増進に努めた。
- ② 週1回の内科嘱託医と月1回の精神科医の回診により、疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、定期的に体重・血圧測定を行い、年2回の定期健康診断を実施した。
- ③ 入浴・洗濯・寝具等の衛生管理を援助して清潔面に配慮するとともに、玄関・トイレ・食堂の出入り口に手指消毒器を設置して感染症等の発生予防に努めた。

(3) 入居者の処遇

- ① 入居者の身体状況・精神状況・社会環境を把握し、本人や家族のニーズに対応できる処遇計画を策定し、実践・評価・改善を図り自立支援に向けた処遇に努めた。
- ② ケアプランに基づき、必要に応じて、適切かつ円滑な介護サービスが提供できるよう努めた。
- ③ 給食は、嗜好調査や給食検討会をもとに、入居者の嗜好と栄養のバランスに配慮した献立を作成するとともに、安全で季節感のある食材の確保を心掛け、より良い食事の提供に努めた。

(4) 地域社会との交流

- ① 清風園においては一人暮らし高齢者に対して食の自立支援事業（配食サービス）を行い、食を通じて在宅高齢者の生活援助に努めた。
- ② 地域福祉のセンター的役割を果たすため、積極的に地域の幼稚園、小・中学校及び支援学校の生徒の皆さんとの交流、及び、横市地区まちづくり協議会等への参加に努めた。
- ③ 西中、西高校、看護学校等ボランティアの積極的な受け入れを実施した。

(5) 職員の資質向上

- ① 施設内・施設外研修を計画的に実施し、職種別研修会・講習会等へ積極的に参加した。
- ② 朝礼・職員会議・事業所会議によって職種間の意思統一と共通理解に努めた。

(6) 防災・防犯対策

- ① 緊急有事の際には、入居者の安全かつ迅速な避難救出を第一として、防災教育ならびに避難誘導訓練の実施、消防防災設備の点検、消火器の位置確認及び操作訓練を計画的に実施した。
- ② 消防署の協力を得て総合防災訓練を実施し、自衛消防隊の円滑な活動ができるように努めた。

(7) 施設・環境整備

- ① 屋根の老朽化が進んできたので計画的に屋根防水改修工事を施工した。
- ② 空調設備の老朽化に伴い、計画的に中央集中管理方式から個別空調方式に更新するため、本年度は空調電気工事を施工した。
- ③ 居室清掃をはじめ、業者や職員により園庭や樹木の整備と美化を図り、生活しやすい屋内外の環境づくりに努めた。

2 事業実施状況

平成30年

- | | | |
|----|-----|------------------------------------|
| 4月 | 2日 | 屋内清掃(毎月2回) |
| | 3日 | 内科嘱託医回診(毎週火曜日) |
| | 4日 | 書道クラブ(毎月)
特攻碑・墓地清掃(毎月) |
| | 5日 | 屋外清掃(毎月2回) |
| | 6日 | 第42回都城市特別攻撃隊戦没者慰霊祭参列
買物の日(毎月2回) |
| | 9日 | 散髪(毎月)
リハ体操クラブ(毎月) |
| | 10日 | 事業所会議(毎月第2火曜日) |
| | 11日 | グランドゴルフクラブ(毎月) |
| | 12日 | 誕生会(毎月第2木曜日) |
| | 13日 | (県南)施設長・相談員合同会議(山之口) |
| | 15日 | 生花クラブ(毎月) |
| | 16日 | 避難訓練(毎月) |
| | 17日 | 課長会議(毎月第3火曜日) |
| | 19日 | 喫茶コーナー(毎月第3木曜日) |
| | 20日 | 機能回復訓練(毎月第3金曜日) |
| | 23日 | カレンダー作成(毎月) |
| | 24日 | 経営者会議入所者健康診断(年2回) |
| | 25日 | 安全感染委員会
栄養管理委員会(毎月) |
| | 26日 | 音楽クラブ(毎月) |
| | 27日 | 入所者との話し合い(毎月第4金曜日) |
| 5月 | 1日 | 屋根防水工事 8月31日まで |

- 17日 (県南)養護老人ホーム利用者交流大会(清風園)
- 29日 (県)タイムマネジメント・段取り力研修
- 6月 1日 (県南)栄養士研修(高崎)
- 4日 (実習)きりしま支援学校(高等部)
- 5日 第2回事業団理事会
(県)問題解決能力スキルアップ研修
- 8日 (県南)調理員研修(高原)
(県)チーム力を高めるコミュニケーション研修
- 16日 西高生ボランティア(毎月第3土曜日)
- 21日 事業団第2回評議員会
- 28日 施設内研修(隔月)
- 29日 食事(選択食)
- 7月 4日 (県)記録技術基礎研修
- 5日 七夕飾り付け
- 6日 (県)チーム力を高めるコミュニケーション研修
- 7日 七夕
高看生ボランティア(毎月第1土曜日)
- 12日 (県)キャリアパスチームリーダーコース
- 13日 (県南)事務員研修(えびの)
- 18日 (県)メンタルヘルス研修 I
- 26日 納涼夏祭り
- 8月 7日 県指導監査
- 10日 お盆法要・法話(攝護寺)
- 17日 (県南)施設長・相談員合同研修(小林)
- 27日 ボランティア;アイリス・シニアコーラス
- 30日 (県)OJTスキル基礎研修
- 9月 11日 (県)福祉職員のための医学基礎知識研修
- 13日 敬老祭・誕生会(一日園長)
- 21日 きりしま支援学校生との交流(中等部)
- 10月 11日 (県南)支援員研修(高城)
- 12日 第53回清風園運動会
- 17日 総合防災避難訓練
- 18日 (県南)利用者グランドゴルフ交流大会(高城)
- 25日 (県南)先進地視察研修(大分)2日間
- 31日 建築物・建築設備調査
- 11月 1日 郊外レクレーション(宮崎)
- 5日 きりしま支援学生体験実習(中等部) 9日まで
- 8日 (県南)看護師研修(東岳荘)
- 9日 (社協)認知症研修
- 10日 (県)養護老人ホーム職員研修
- 17日 横市地区祭り(作品展展示)
- 19日 きりしま支援学生体験実習(高等部) 30日まで
- 20日 西小学校3年生との交流
- 29日 (県)苦情解決セミナー

- 12月 4日 きりしま支援学校との餅つき交流
11日 相愛保育園とのクリスマス交流
13日 誕生会・忘年会
- 平成31年
- 1月 8日 初詣(母智丘神社)
10日 新年会・誕生会
空調更新電気工事 3月31日まで
11日 (県南)施設長・相談員合同会議(山田)
22日 (市)事業継続計画
- 2月 3日 節分(豆まき)
- 3月 7日 ふれあいレストラン(寿司)
20日 彼岸法要・法話(願心寺)
アスファルト舗装工事 31日まで
25日 観桜会

3. 職員の状況

施設長	嘱託医	副施設長兼相談員	相談員	主任支援員	介護支援専門員
1(0)	2(2)	1(0)	2(0)	1(0)	1(0)
支援員兼介護員	看護職員	栄養士	調理員	事務職	計
20(4)	3(1)	1(0)	8(4)	2	42(11)

()内は非常勤職員を再掲

4. 月別入居者入退居の状況

平成31. 3. 31現在

	入 居			退 居			月末現在		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
30年 4月	0	1	1	0	1	1	10	60	70
5月			0	1	0	1	9	60	69
6月	2	1	3	0	2	2	11	59	70
7月	0	1	1	1	0	1	10	60	70
8月	0	1	1	0	1	1	10	60	70
9月	0	0	0	1	0	1	9	60	69
10月	0	1	1	0	0	0	9	61	70
11月	0	1	1	0	1	1	9	61	70
12月	0	0	0	0	0	0	9	61	70
31年 1月	0	1	1	1	0	1	8	62	70
2月	0	0	0	0	0	0	8	62	70
3月	1	0	1	0	1	1	8	61	69
合計	3	7	10	4	6	10	110	727	837

*退居者の状況

退居後の居所	家 庭	0
	病 院	3
	養護老人ホーム	0
	老人保健施設	0
	特別養護老人ホーム	3
	介護付有料老人ホーム	0
	死 亡	4
合 計	10	

*入所者の状況

入居所前の	家 庭	6
	病院(精神)	(3)
	老人保健施設	1
	合 計	10

5. 年齢階層別調

平成31. 3. 31現在

	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	合計	平均年齢
男 性	1	3	1	0	1	0	1	1	0	8	76歳8月
女 性		3	2	11	10	12	17	5	1	61	85歳8月
合 計	1	6	3	11	11	12	18	6	1	69	84歳8月

6. 在居期間 平成31. 3. 31現在

期 間	男	女	計
1年未満	2	7	9
1～ 5年	3	26	29
5～10年	2	16	18
10年以上	1	12	13
合 計	8	61	69

7. 要介護度の状況 平成31. 3. 31現在

要介護度	男	女	計
自立・要支援	6	33	39
要介護1	0	2	2
要介護2	2	6	8
要介護3	0	15	15
要介護4	0	5	5
要介護5	0	0	0
合 計	8	61	69

8. 食の自立支援事業

	利用者数	配食数
30年 4月	17	278
5月	19	333
6月	17	330
7月	17	329
8月	16	310
9月	16	266
10月	17	318
11月	17	324
12月	18	324
31 1月	18	305
2月	18	277
3月	18	275
合計	208	3,669

* 食事の調理が困難な高齢者に対して、事前計画に基づいて定期的に居宅に訪問して栄養バランスの取れた食事を提供するとともに、利用者の安否確認を実施する。

養護老人ホーム望峰園の概況

1 事業概要

入居者の自主性を尊重しながら、生きがいを持って安心して生活できるように、処遇の充実及び施設環境の改善・整備を基本方針として、支援を行い介護ニーズへの対応の充実を図る事を目的として、次の事業を実施した。

(1) 生活相談・支援

ア 入居者相互の思いやりのある人間関係のもとに、楽しい充実した集団生活が送れるよう相談・支援に努めた。

イ 入居者のニーズや適性を把握しそれぞれに応じたクラブ、行事等への参加を促し相互の融和を図りながら生きがいづくりに努めた。

(2) 健康管理

ア 毎日のラジオ体操、棒体操のほか、園庭散歩、グラウンドゴルフ、レクリエーション等を実施して、健康の保持増進に努めた。

イ 嘱託医との連携により、疾病の早期発見、早期治療に当たると共に、定期健康診断のほか、毎月の血圧、体重測定を実施し入居者の健康管理に努めた。

ウ 身辺整理の励行及び、衛生管理を援助して感染症や食中毒予防の周知を行い、発生対策に努めた。

(3) 入居者の処遇

ア 入居者の身体状況、精神状況、社会環境を把握し、ニーズに対応できる処遇計画を策定し、職種間の共通理解の下に適切な支援を行った。

イ 介護保険サービス利用者に対して、職種間の連携体制を整え、適切かつ円滑なサービスの提供に努めた。

ウ 給食は、嗜好と栄養面を考慮しながら、行事食も取り入れバランスのとれた献立とし、さらに外食会等も実施して、食生活面での生きがいと健康の増進に努めた。

エ 毎月の誕生会や季節の行事、外食会等を計画し活動的で質の高い生活を提供できるように努めた。

(4) 地域社会との交流

ア 地域の関係団体やボランティアとの交流や作品展への参加により、地域の理解を深められるように努めた。

イ 学生の職場体験の受け入れや、施設周辺の清掃活動をすることで地域に貢献できるように努めた。

(5) 職員の資質向上

職員の意識及び処遇技術の向上を図るため、各種研修会等に参加すると共に職場内研修を実施して、職員の資質向上に努めた。

(6) 災害発生時の避難・救出訓練

定期的な消火設備の点検を行うと共に、毎月の避難訓練と年2回の総合防災訓練を実施して、災害発生時に円滑な対処ができるように備えた。

(7) 施設・環境整備

ア 居室内外の定期的な清掃の他、樹木の剪定や害虫駆除によって年間を通じて園庭の美化を図り、毎日の生活が心おだやかに送れるように努めた。

イ 入居者の自発的な除草や清掃作業等によって、園庭の美化が図られた。

2 実施状況

H30

- 4月 2 内科回診(毎週月曜日)
- 3 職員研修・避難訓練(職員対象)
- 3 血圧・体重測定(毎月)
- 5 誕生会(毎月)
- 5 預金日(毎週木曜日)出張販売(毎週木曜日)
- 8 散髪の日(毎月 第1日曜日業者来園)
- 9 介護研修、ミーティング(2ヶ月1回)
- 12 事業所会議・安全委員会・感染委員会(毎月)
屋内外清掃(毎月1回)
- 13 県南ブロック施設長・相談員合同会議(都城市)
- 17 課長会(毎月第3火曜日)
- 19 喫茶(年5回)・生花クラブ(毎月)
- 24 経営会議(毎月)・カラオケクラブ(毎月)
- 26 園内グランドゴルフ大会・入居者集会(毎月)

- 5 1 血圧・体重測定(毎月)
- 15 職員会議・職員研修(毎月)
- 17 県南ブロック利用者交流大会(高崎町)
- 21 入居者健康診断(AM・PM)31日まで
- 24 避難訓練(毎月)

- 6 1 県南ブロック栄養士研修(高崎町)
- 4 介護研修会(2ヶ月に1回食中毒、感染症)
- 7 誕生会(テーブルバイキング)さのぼり
- 8 県南ブロック調理員研修(望峰園担当)
- 12 郊外レクレーション(イオンで食事、買い物)14日まで
- 20 選択食(親子丼、牛丼、鰻丼)

- 7 12 志和地民児協来園
- 13 県南ブロック事務員研修(えびの市)
- 19 夏祭り(納涼の夕べ)
- 24 喫茶開設(冷やしぜんざい・かるかん・抹茶ゼリー)

- 8 1 納骨堂清掃・墓参り
- 3 七夕飾り
- 9 お盆法要・法話(信行寺)
- 13 お盆(迎え火)
- 15 お盆(送り火)
- 17 県南ブロック施設長・相談員合同会議(小林市)

- 9 6 総合防災訓練・防火設備点検(年2回)

- 13 敬老会、誕生会(安久保育園児訪問)
 14 納骨堂清掃・墓参り
 18 人権相談(宮崎県人権相談委員)
 20 彼岸法要・法話(信行寺)
 27 望峰園健康運動会
- 10 4 事業団九州ブロック大会(宮崎市)5日まで
 11 県南ブロック支援員研修会(高城町)
 17 選択食(肉うどん・チャンポン・焼きそば)
 18 県南ブロックグラウンドゴルフ大会(高崎町)
 25 中郷地区戦没者慰霊祭
 25 県南ブロック先進地視察研修(大分県)26日まで
 29 インフルエンザ予防接種
- 11 6 園内ゲーム大会(園庭昼食会)
 8 県南ブロック看護師研修会(山之口町)
 10 中郷地区文化祭(作品出品)(中郷中体育館)11日まで
 15 事業団事例発表会
 21 行事食(バイキング)
 20 入居者健康診断(2回目)29日まで
 30 高齢者虐待研修会(都城市)
- 12 6 忘年会(すき焼き).誕生会
 11 大掃除
 13 餅つき
 20 クリスマス喫茶、冬物衣料品支給
 28 正月飾り付け
- H31
- 1 2 初風呂
 8 誕生会・新年会(和風ステーキ)
 7 七草粥
 10 初詣(神柱神宮)
 11 県南ブロック施設長・相談員研修(都城市)
- 2 3 節分(豆まき)
 7 誕生会(ちゃんこ鍋)
- 3 5 ひなまつり・誕生会
 12 総合防災訓練(南消防署立会い)
 13 納骨堂清掃・墓参り
 14 彼岸法要・法話(信行寺)
 26 観桜会(外食、弁当)

3. 職員の状況

H 31. 3. 31現在

施設長	副施設長 兼 相談員	相談員兼 事務員	事務員	看護職員	栄養士	調理員	嘱託医
1	1	1	1	2	1	7(4)	2(2)
主任 支援員	サービス 提供責任者	支援員兼 訪問介護員	夜間介助員	計			
1	1	14	1(1)	33(6)	() は非常勤職員を再掲		

4. 月別入所者入退所状況

区分 月	入 所			退 所			月末現在		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
4							9	41	50
5							9	41	50
6					1	1	9	40	49
7	1	1	2		1	1	10	40	50
8				1	1	2	9	39	48
9							9	39	48
10		1	1		1	1	9	39	48
11				1		1	8	39	47
12		1	1		1	1	8	39	47
1		1	1				8	40	48
2		1	1				8	41	49
3		1	1				8	42	50
合計	1	6	7	2	5	7			

*参考資料

退所後の状況 (30年度分)

退 所 後 の 状 況	在 宅	
	医療機関	2
	他の養護老人ホーム	
	特別養護老人ホーム	2
	老人保健施設	
	死 亡	3
	その他 (グループホーム)	
合 計	7	

5. 年齢階層別調

H31. 3. 31現在

年齢 性別	64～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 以上	計	平均 年齢
男		4	1	2	1			8	77.00
女	1	6	7	9	5	8	6	42	84.83
計	1	10	8	11	6	8	6	50	83.58

6. 在所期間

H31. 3. 31現在

期 間	男	女	計
1年未満	1	6	7
1～5年	4	19	23
5～10年	2	9	11
10～20年	1	7	8
20年以上		1	1
合 計	8	42	50

7. 要介護度の状況

H31. 3. 31現在

要介護度	男	女	計
要介護 1		1	1
要介護 2		1	1
要介護 3		1	1
要介護 4		3	3
要介護 5		1	1
合 計	0	7	7

特別養護老人ホーム白寿園の概要

1. 事業概要

介護保険制度の目的は、施設の入居者、在宅の利用者の区別なく、全ての入居者に質の高いサービスを安定的に提供することであることを全職員が認識し、介護保険法に基づく「介護老人福祉施設」として介護サービスの向上に努めた。

入居者にとっては自宅に変わる生活の場であるため、生活空間を大切とした個室ユニットケアを推進し、毎日の生活が安心して、明るい気持ちで過ごせるよう、ケアプランに基づいた適切で真心のこもった介護を行うと共に、残存機能の維持を図ることに力を注いだ。

(1) 施設・環境の整備

ア 入居者が安全・安心して生活ができるように、ボランティア等の協力援助を受け園内外の環境美化に努めた。

(2) 生活指導

- ア 日々の生活を充実させるため、朝の体操、音楽リハビリ、機能回復訓練を励行し、入居者の心身機能の維持向上に努めた。
- イ 新聞購読やテレビ鑑賞を楽しんでもらい、ニュースや社会に動き等の情報にふれ、社会性のある生活を送られるよう努めた。また昨年同様、園内の雰囲気をやかにするため、有線放送による軽音楽等を流した。

(3) 健康管理

- ア 入居者の高齢化、重度化のなか、常に一人ひとりの健康状態を注意し、嘱託医・看護師・管理栄養士・介護職員の連携を図りながら、疾病の早期発見、予防等健康保持に努めた。
- イ 非常勤理学療法士により週一回の全体での機能回復訓練を行うと共に、機能訓練指導員が生活の中での機能訓練に努めた。
- ウ ノロウィルス・インフルエンザ等の感染症予防に全職員一致協力し取り組んだ。

(4) 入居者の介護

- ア 入居者が自宅における生活と入居後生活が連続したものとなるよう家庭訪問等で再アセスメント、ケアプランを見直し、より快適な生活ができるように努めた。
- イ 給食については、栄養マネジメントを実施し、常に栄養の確保に留意することは勿論、入居者の健康状態や好みに合わせて調理し、適温・適時に配膳し、行事食も適宜配慮して食生活の面から生きがいを高められるよう努めた。
- ウ 歯科医師との連携をとりながら口腔ケアを実施し、口腔内の清潔・機能維持に努めた。
- エ 入居者の自然な動きに合わせた“滑らせる介護”の提供により入居者に負担のない介護に努めた。
- オ その人に合った車椅子を提供することで快適な姿勢で過ごしていただけるように努めた。

(5) 地域社会との交流

- ア 在宅で要介護状態の高齢者に対し、ショートステイ事業を行い、心身機能の維持並びに、介護者の身体的・精神的負担の軽減を図るよう努めた。
- イ 在宅で心身の虚弱な高齢者に対し、配食サービスを行い在宅高齢者の生活援助に努めた。
- ウ 地域交流センターで月 1 回喫茶コーナー（茶話会）を実施し地域の方々との交流を一層深めて行くよう努めた。
- エ 地域主催の介護教室等積極的に協力し、地域福祉の担い手となるように努めた。

(6) 職員の資質の向上

- ア 介護技術向上のため、抱えない介護研修会・介護技術研修会・ユニット関連の研修会参加に積極的に取り組み質の向上に努めた。
- イ 介護福祉士養成実習施設として、高校や専門学校等の研修生を積極的に受け入れた。
- ウ 新規採用者に対して新人研修プログラムに沿った指導を行う事で基礎知識の統一に努めた。
- エ 職場における腰痛予防対策として福祉用具の利用を促進し、原則として、人が人を持ち上げないための代替策として、リフトの利用や、重心の水平面内での移乗を行うスライディングシートやトランスファボードを利用し、入居者、介護者双方にとって負担のない介護に努めた。
- オ 職場におけるメンタルヘルス対策として、ストレスチェックを実施し職員のストレスの程度を把握し、職員自身のストレスへの気付きを促すとともに、働きやすい職場づくりを進め職員がメンタルヘルス不調とならないように努めた。

カ 県内外の先進施設との交流を図り、職員の資質向上や意識の向上図った。

(7) 非常災害対策

- ア 常に消火設備・避難設備等の点検整備に心がけ、有事に備え入居者の人命尊重を第一に、毎月避難訓練、年 2 回の消防署立合の総合防災訓練を実施し、防災意識の高揚と協力体制の確立に努めた。

(8) 地域における公益的な取り組み

- ア 既存の制度や福祉サービスでは対応が困難で、緊急な対応が必要な生計困窮者に対して自立的な社会貢献活動の取り組みとして、生計困難者等の自立を援助するための相談支援活動に努めた。

2. 実施状況

月例	音楽リハ	(第 2・4 月曜日)
	個別リハ	(毎週水曜日)
	誕生会	(毎月 各ユニット)
	理髪の日	(毎月)
	避難訓練	(毎月)
	課長会議	(毎月 第 3 火曜日)
	施設長会	(毎月 第 4 火曜日)
	リーダー会	(毎月)
	事業団介護相談員相談日	(毎月第 3 木曜日)
	ユニットケア推進委員会	(毎月)

(抱えない介護・水分・排泄・認知症・歩行・園芸・レク・散髪)
 喫茶コーナー開設 (4月～11月) 毎月ボランティア協力8名程
 新規採用者職場内研修 (5日間) 職員採用時
 事故発生防止委員会感染症・食中毒委員会、身体拘束廃止委員会
 褥瘡対策委員会、医療的ケア対策推進委員会、衛生委員会 (毎月随時)
 インフルエンザワクチン予防接種 (11月)
 腰椎検査 (3月) 夜勤者検診 (7月)

平成 30 年

- 4 3 新人研修 (6日迄)
 6 (研修) 抱えない介護勉強会 (年4回、講師専任作業療法士) 8日まで
 8 花御堂 (願心寺)
 11 職員検便 (毎月:調理、隔月:直接処遇職員)
 24 りんごの木交流会
 24 すずらんユニット郊外レク (外食・あやめ鑑賞)
- 5 8 庄内地区意見交換会
 9 庄内地区社協総会
 10 福祉の基礎知識習得研修
 13 町区ボランティア
 22 焼肉会 (各ユニット 28日迄)
 24 あやめユニット郊外レク (猫カフェで外食)
 25 谷頭相撲甚句保存会ボランティア
 29 コア学園 (職場体験) 学生10名 教員1名
 30 りんごの木交流会
6. 1 認知症ケア研修
 4 庄内地区地域支援会議
 5 問題解決能力スキルアップ研修
 5 あじさいユニット郊外レク (あじさい公園であじさい鑑賞)
 5 (実習) 都城市コアカレッジ (2年生2名 7/12まで)
 8 (研修) 抱えない介護勉強会 (年4回、講師専任作業療法士)
 11 (職場内研修) オムツフィッター 個々に合わせた排泄について
 16 都城西高校ボランティア (9名)
 24 今屋地区ボランティア (9名)
7. 2 庄内地区地域生活支援会議
 9 (実習) 都城高校実習生 (3年生2名 8/10迄)
 11 願心寺婦人部コーラスボランティア (19名)
 12 県南ブロック事務長研修
 19 キャリアパス中堅研修
 21 都城西高校ボランティア (7名)
 23 ソーメン流し (各ユニット27日まで)
 23 県立学校教諭初任者研修(介護体験30日まで)
 25 りんごの木交流会
 26 庄内中学校体験学習 (6名)

- 27 庄内中学校体験学習（9名）
 - 29 千草地区ボランティア（9名）
 - 31（職場内研修）夏の感染症（食中毒）・漢方薬について
- 8.
- 1 自立支援型地域ケア会議事業所研修会
 - 3 リフトフェア
 - 6 小林秀峰高校生（自主実習1名）
 - 6 庄内地区地域支援会議
 - 7 庄内中学校体験学習（8名）
 - 8 庄内中学校体験学習（8名）
 - 8 庄内地区民生委員定例会議出席
 - 10 お盆法要（願心寺）
 - 20 ソーメン流し（各ユニット24日まで）
 - 21（実習）都城高校（2年生 3名 9/18迄）
 - 22 庄内地区総合研修会
 - 24 コアカレッジ企業巡見
 - 26 スカットボール大会
 - 27 宮島地区ボランティア（10名）
 - 28 ターミナルケア研修
 - 31 りんごの木交流会
- 9.
- 3 庄内地区地域支援会議
 - 13 開設者研修
 - 18 開設者研修（実地研修）
 - 22（研修）抱えない介護勉強会（年4回、講師専任作業療法士）
 - 28 もみじユニット ユニット調理（月見団子・煮しめ）
- 10.
- 1 庄内地区地域生活支援会議
 - 1 いちようユニット ユニット調理（ホットケーキ作り）
 - 4 全事協九州大会
 - 7 庄内地区スポレク大会
 - 10 ユニットケア研修
 - 11 国際福祉機器展（12日まで）
 - 11 看護師のためにユニットケア研修（12日まで）
 - 14 平田地区ボランティア（7名）
 - 16 すずらんユニット郊外レク（高千穂牧場）
 - 18 庄内の里郊外レク（ふもと茶屋）
 - 19 県南ブロックミニバレー大会
 - 22 すずらんユニット郊外レク（高千穂牧場）
 - 22 サンマ焼き（各ユニット26日まで）
 - 26 ディズニー研修
 - 27 関之尾地区ボランティア（12名）
 - 30 さくらユニット郊外レク（高千穂牧場）
- 11.
- 3 庄内ふるさと祭り

- 6 (実習) 都城高校 (2年生 3名 14迄)
- 6 もみじユニット郊外レク (島津亭菊展)
- 12 庄内地区地域支援会議
- 13 さくらユニット郊外レク (島津亭菊展)
- 14 (職場内研修) 冬季の感染症について対策方法や知識の向上を図る
- 16 県南ブロック相談員研修
- 17 都城西高校ボランティア (3名)
- 20 CSW 意見交換会
- 22 庄内中学校ボランティア (歌)
- 26 (実習) 都城医療センター附属看護学校生(2年生 3名 12/5迄)

- 12. 3 庄内地区地域支援会議
- 6 県南ブロック看護・介護研修
- 7 (実習) 都城医療センター附属看護学校生 (2年生 3名 12/15迄)
- 9 庄内川一周駅伝参加
- 10 そば打ち (14日まで)
- 11 アセッサー講習
- 13 庄内地区反省会
- 15 都城西高校ボランティア (11名)
- 22 (研修) 抱えない介護勉強会 (年4回、講師専任作業療法士)
- 27 餅つき (施設内)
- 28 門松作り

平成31年

- 1. 7 初詣(各ユニット 15日迄)
- 10 雇用定着セミナー
- 18 コミュニケーション研修アサーション編
- 21 BCP 作成研修
- 24 高齢者虐待研修
- 24 CSW 意見交換会

- 2. 4 庄内地区福祉座談会
- 5 (実習) 都城市コアカレッジ (1年生 1名 2/28まで)
- 5 (職場内研修) 認知症について
- 21 庄内地区介護者の集い
- 23 コアカレッジ企業巡見
- 27 IT セミナー研修 (28日まで)

- 3. 5 (職場内研修) 各ユニットの振り返りについて
- 11 庄内地区地域生活支援会議
- 11 川崎地区ボランティア (10名)
- 13 CSW 意見交換会
- 20 県南ブロック施設長研修 (21日まで)
- 25 総合避難訓練
- 27 花見 (各ユニット 29日まで)

3. 職員の状況

H31. 3. 31現在

施設長	副施設長兼相談員	相談員・ケアマネ	事務職	支援課長	介護職	看護師	清掃・相談補助	栄養士	調理員	嘱託医	計
1	1	2	2	1	52(18)	5	3 (3)	2 (1)	10(8)	2 (2)	81(32)

() は非常勤職員を再掲

4. 月別入居者入退状況

区分	入 居			退 居			月末現在			在所日数	
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	30年度	29年度
4		1	1		1	1	10	40	50	1,491	1,496
5							10	40	50	1,550	1,539
6					1	1	10	39	49	1,496	1,500
7		1	1		1	1	10	39	49	1,525	1,550
8		1	1				10	40	50	1,548	1,550
9					1	1	10	39	49	1,490	1,486
10		1	1	1	1	2	10	40	50	1,546	1,539
11		2	2		3	3	9	38	47	1,415	1,500
12	1	3	4	1	1	2	9	40	49	1,486	1,530
1		1	1		1	1	9	40	49	1,531	1,523
2		2	2		1	1	9	41	50	1,380	1,400
3		1	1		1	1	9	41	50	1,543	1,538
合計	1	13	14	2	12	14	115	477	592	18,001	18,151

5. 在所期間

H31. 3. 31現在

期間	1年未満	1～5年	5～10年	10年以上	平均在所期間
男	1	4		4	83.6ヵ月
女	11	21	5	4	42.3ヵ月
計	12	29	5	8	49.7ヵ月

6. 年齢階層別調

H31. 3. 31現在

	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	年齢
男		1	2	2	2	1	1		最小年齢 70歳9ヶ月
女		1	1	5	9	11	11	3	最大年齢 101歳
計	0	2	3	7	11	12	12	3	平均年齢 89歳4ヶ月

7. 要介護状況

H31. 3. 31現在

期間	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均
男	0	0	2	1	6	4.1
女	0	0	5	21	15	4.2
計	0	0	7	22	21	4.2

8. 短期入所生活介護事業

利用者が要介護状態になった場合に、入浴・排泄・食事等の介護、その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の機能の維持並びに、利用者の家族の身体状況及び精神的負担の軽減を図るように努めた。

利用状況 ユニット型短期入所

H30年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
実人員	13	19	17	20	20	19	19	18	18	20	17	22	35
延日数	195	263	239	277	260	238	247	239	209	234	196	240	2,837
新規利用者	1	2	1	1	1	0	0	0	1	2	1	2	12

* 参照

延日数	191	186	206	211	194	193	149	173	221	205	142	227	2,298
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------

利用状況 短期入所生活介護庄内の里

H30年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
実人員	27	26	28	32	28	29	32	31	26	26	27	27	62
延日数	477	477	493	559	533	522	561	511	519	527	449	476	6,104
新規利用者	1	0	4	4	1	0	2	2	0	1	0	3	18

* 参照

延日数	479	477	516	487	539	514	557	505	513	483	409	479	5,958
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------

9. 食の自立支援事業

食事の調理が困難な高齢者に対し、定期的に居宅を訪問して栄養バランスのとれた食事を提供することにより健康保持及び自立生活の援助を図りかつ安否確認を行い、在宅高齢者の福祉の増進をはかるように努めた。

利用状況

H30年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
実人数	12	12	13	13	13	12	14	14	14	16	16	16	165
配食数	198	214	209	221	224	200	261	258	234	258	250	267	2,794

* 参照

前年度	283	292	277	301	321	282	279	275	218	210	221	228	3,187
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------

10. みやざき安心セーフティネット事業

制度の狭間の生活困窮など様々な生活課題を抱える人々に対して社会福祉協議会、民生委員等と連携・協働しながら、自立に向けた支援に努めた。

利用状況

H30年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
実人数							1						1名
相談支援件数							1						1件

居宅介護支援業所 ケアプランサービスゆへの概況

事業の概要

ケアプランサービスゆへでは介護支援専門（ケアマネージャー）5名を配置し在宅での介護支援サービス全過程において自立した質の高い生活が送れるように介護サービス計画書（ケアプラン）を作成しました。

その中で要介護者が最も効率的に保健 医療 福祉のサービスを利用できるよう他職種、医療機関とも連携を深めることに努めました。

またご家族の悩みを真摯に受け止め共有し安心した在宅生活を支援できるようサポート・助言を行いました。

介護支援専門員は要援護高齢者が、その人らしく住み慣れた地域で生きがいを持って生活できるよう専門職としての知識と技術を身につけるよう努めました。

主たる業務内容

- (1) 在宅介護にかかわる総合的な相談窓口
 - ・ 主として自宅へ訪問し相談・助言・指導に努めました。
 - ・ 各種サービス事業者、 民生委員 ならびに地域の方からの情報提供を得られるよう努めました。
 - ・ 地域の社会資源を発掘・活用し地域との連携を図れるよう配慮しました。
 - ・ 包括支援センターと連携を取り困難事例などの受け入れもできる体制を整えました。
- (2) 指定居宅介護支援事業所として介護保険への取り組み
 - ・ 在宅でできる限りその人らしい生活が送れるように、サービスの紹介や自立に向けたケアプランの作成・介護保険認定申請代行など円滑に行えるよう努めました。
 - ・ 医療機関・サービス事業所との連携を密にし自宅での自立をめざし支援を行いました。
 - ・ 利用者本人だけでなく家族の負担軽減も図れるよう信頼関係構築に努めました。
- (3) 主任介護支援専門員を配置し介護支援専門員の知識向上に努め、特定事業所加算の取得を行いました。
 - ・ 個別研修計画に沿った研修会への参加
 - ・ 週1回程度の事業所内研修の実施
 - ・ 24時間連絡体制を整備
 - ・ 包括支援センターとの連携、包括からの困難ケースの受け入れ
 - ・ 減算のないよう日常業務を実施
 - ・ 他法人との合同研修会の実施

平成30年度 ケアプランサービスゆう 実績報告

対象月	新規	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	給付数
4月	2件	4件	37件	38件	26件	16件	8件	129件
5月	5件	5件	39件	34件	27件	16件	10件	131件
6月	7件	16件	41件	36件	24件	15件	9件	141件
7月	5件	15件	41件	33件	25件	18件	9件	141件
8月	7件	14件	45件	34件	24件	16件	9件	142件
9月	6件	15件	47件	34件	26件	15件	9件	146件
10月	2件	16件	47件	33件	29件	14件	8件	147件
11月	7件	17件	49件	35件	30件	14件	6件	151件
12月	8件	18件	46件	34件	34件	16件	5件	153件
1月	6件	19件	48件	34件	30件	21件	5件	157件
2月	5件	14件	51件	33件	34件	17件	5件	154件
3月	8件	14件	54件	36件	28件	15件	6件	153件
合計	68件	167件	545件	414件	337件	193件	89件	1745件

H30年度 居宅介護支援事業所 ケアプランサービスゆう 相談一覧

年月日	担当	A	B	C	D	E	小計	
							介護計画	新規受け入れ
平成30年4月		32	32	31	30+【予防4】		125【4】	2
5月		32	33+【予防1】	31	30+【予防4】		126【5】	5
6月		31+【予防4】	31+【予防3】	25+【予防4】	26+【予防5】	12	125【16】	7
7月		31+【予防4】	30+【予防3】	26+【予防4】	26+【予防4】	13	126【15】	5
8月		32+【予防3】	30+【予防3】	24+【予防4】	27+【予防4】	15	128【14】	7
9月		31+【予防3】	30+【予防3】	26+【予防4】	27+【予防5】	17	131【15】	6
10月		31+【予防4】	30+【予防3】	26+【予防4】	26+【予防5】	18	131【16】	2
11月		33+【予防6】	28+【予防3】	24+【予防3】	29+【予防5】	20	134【17】	7
12月		34+【予防6】	30+【予防4】	23+【予防4】	26+【予防4】	22	135【18】	8
平成31年1月		36+【予防6】	30+【予防3】	23+【予防5】	26+【予防5】	23	138【19】	6
2月		36+【予防4】	30+【予防2】	22+【予防4】	28+【予防4】	24	140【14】	5
3月		38+【予防4】	28+【予防2】	22+【予防4】	25+【予防4】	26	139【14】	8

西岳デイサービスセンターの概要

1 事業概要

在宅の要支援・要介護高齢者に入浴及び給食等の各種サービスを提供し、要介護状態等になった場合においても、その利用者が可能な限り、その居宅においてその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行う事により利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持ならびに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることに留意して事業を実施した。

(1) 入浴

高齢者に適した温度等に留意し快適な入浴が楽しめるよう配慮を心がけ、認知症にて入浴や洗髪に拒否のある方へはタイミングや内容を考慮しながら声かけを行い気持ち良く入浴していただき清潔保持に努めた。

(2) 機能訓練・レクリエーション

利用者の心身の特性に応じ日常動作訓練、レクリエーション等を実施し、楽しみながら身体機能の維持向上できるよう実施した。内容については全体レクリエーションのほか、個別で実施できる個別運動カードを看護師にて作成し自主的に機能訓練を行えるようスタッフ間で協議し、提供した。

(3) 送迎

利用者の心身状態に合わせて車内の座る位置を配慮し、利用者間の会話がスムーズにいくよう努めた。また、怪我がないよう細やかな声かけを行い安全な乗降に努めた。

(4) 給食

利用者に適した材料と季節の旬の食材を献立に取り入れて適切な形態の昼食を提供した。厨房内外の衛生管理に注意を払い、食中毒の予防に万全を期した。利用者の嗜好、アレルギーや心身状態の変化にて食事内容や形態へ変更要望には、栄養士と連携し利用者の状況に対応し、バイキング方式導入にて自立支援及びQOLの拡大に努めた。

2 健康管理

迎え時に検温を実施し、体調不良の早期発見に努めデイ到着時に再度測定を実施した。バイタル異常や気分不良、疾患を確認し次第ご家族やケアマネージャーに連絡し対応を行った。必要に応じて水分補給を行い、夏季は経口補水液の提供も行き熱中症や脱水症予防に努めた。

3 地域との交流

西岳地区文化祭への作品出展、出演参加により施設機能の開示を進め、地区民生児童委員ならびに地区自治公民館への情報交換に努めた。ボランティア演芸日は、気軽に対寄っていただけるよう地域の方に広報を行い、毎月、デイサービス通信を発行し利用者の御家族へ配信を行った。

4 職員の資質向上

職員に対して介護保険の動向ならびに個別援助計画作成の周知を図った。また、研修会等に積極的に参加させるとともに、隔月に独自の内部研修会、毎月の職員会議において課題の検討を行い職員の資質の向上に努め、方針を明確に提示し働く意義や意識を統一し組織人としての連携を図る事で最良のケアを提供出来るよう努めた。

5 施設整備

駐車場周辺のブロック壁を整備した。活動的な場所への変換を目標に機能訓練や自立支援の行動を起こせるフロアスペースへと改善を図った。

6 具体的実施状況・利用実績

別紙参照

平成 30 年度 年間行事計画実施状況

西岳デイサービスセンター

月例行事	1 誕生会(誕生者へ創作物のプレゼント) 2 職員会議(行事、レク内容協議、意見交換) 4 各種ゲーム	毎 日	個別カードによる個別運動 口腔嚥下体操 ラジオ体操・各種体操
	5 個別援助計画作成 6 利用予定カレンダー作成	年 間	避難訓練(6月10月) 嗜好調査(5月)
随 時	自然災害・利用者異変時の対応(全スタッフ) ボランティア受け入れ		
4月	制作活動(こいのぼり作成)・泉会訪問		
5月	郊外レク(アヤマ見学)・茶話会(嗜好調査)・泉会訪問		
6月	制作活動(七夕飾り)・七夕飾りつけ・泉会訪問・避難訓練		
7月	買い物ツアー・泉会訪問		
8月	制作活動(うちわ)・泉会訪問		
9月	敬老会・訪問(西岳地区子供会・泉会・九州プロレス)		
10月	運動会・泉会訪問・制作活動(文化祭出展用)・避難訓練		
11月	西岳地区文化祭展示・参加・郊外レク(柿狩り・紅葉見学)・泉会訪問		
12月	制作活動(正月飾り)クリスマス会・忘年会・泉会訪問		
1月	茶話会・初詣(神柱宮)・泉会		
2月	豆まき・制作活動(雛飾り)・泉会訪問		
3月	茶話会(ひな祭り)・郊外レク(母智丘・桜花見)・泉会訪問		

庄内デイサービスセンターの概要

1 事業概要

在宅の要支援・要介護高齢者に入浴及び給食等の各種サービスを提供し、要介護状態等になった場合においても、その利用者が可能な限り、その居宅においてその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行う事により利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持ならびに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることに留意して事業を実施した。

(1)入浴

高齢者に適した湯温管理、在宅生活が維持向上できるよう利用者の心身の状況に応じて、必要な介助を行い身体の清潔保持に心がけた。また、自立支援に向けての対応も行った。

(2)機能訓練・レクリエーション

利用者の心身の特性に応じて日常動作訓練、日替わりレクリエーションとして、頭脳、体力、リズム、音楽系として実施し、楽しみながら身体機能の維持向上できるよう実施した。内容については、全体レクリエーションのほか、個別で実施できる個別運動カードを看護師にて作成し自主的に機能訓練を行えるようスタッフ間で協議し、提供した。

(3)給食

利用者の嗜好に合わせた内容や形態についてもそれぞれ個人に合わせ適した材料と季節の旬の食材を献立に取り入れて昼食を提供した。入浴後の厨房内外の衛生管理に注意を払い、食中毒の予防に万全を期した。

2 健康管理

利用者の表情、顔色等を観察し、看護師により血圧、脈拍、体温測定を実施した。常に利用者の健康状態を把握してサービス提供の基本とした。また、経過記録等の統計を用い、ケアマネ含む専門職間にて情報共有を行い状態変化の早期発見に努めた。

3 地域との交流

施設機能の周知を図るため、地域のボランティアや学校との交流が出来るよう環境を作った。

4 職員の資質向上

職員を研修実施機関が実施する講習会、研修会等に積極的に参加させるとともに、隔月に独自の職員合同研修会、毎月の職員会議において課題の検討を行い職員の資質の向上に努めた。

5 具体的実施状況・利用実績

別紙参照

平成 30 年度 年間行事実施状況

庄内デイサービスセンター

月例行事	1 誕生会	毎 日	個別カードによる個人予防運動
	2 職員会議 職員研修		通所介護計画実行記録
	3 個別援助計画作成		口腔嚥下体操
	4 屋内外清掃		ケース会議
	5 利用予定カレンダー作成	年 間	避難訓練
			嗜好調査
随 時	身体測定 (身長、体重)・喫茶		
4月	健康体操・日替わりレク(体力系)・創作活動・茶話会		
5月	日替わりレク(頭脳系・体力系)・地域探訪(アヤマ観賞)		
6月	日替わりレク(リズム体操・棒体操等)・創作活動(七夕)		
7月	創作活動(七夕)・日替わりレク(頭脳系)・喫茶・アコーディオン観賞		
8月	夏祭り・創作活動(ちぎり絵)・日替わりレク(頭脳、リズム系)		
9月	創作活動(塗り絵綴込み)・敬老会(演芸・くじ引き大会)		
10月	ミニ運動会・日替わりレク(リズム系・頭脳系)・個別運動・料理教室		
11月	地域探訪(島津邸菊花展)・創作活動(クリスマス関連)・日替わりレク(頭脳系・体力系)		
12月	創作活動(正月飾り)・趣味活動・忘年会・茶話会・ビンゴ大会		
1月	初詣・趣味活動(書初め)・新年会・日替わりレク・喫茶		
2月	節分・日替わりレク・創作活動(雛飾り)・茶話会		
3月	日替わりレク・創作活動(桜)・スカットボール・地域探訪(観桜会)・料理教室		

横市デイサービスセンターの概要

1 事業概要

在宅の要支援・要介護高齢者に入浴及び給食等の各種サービスを提供し、要介護状態等になった場合においても、その利用者が可能な限り、その居宅においてその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行う事により利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持ならびに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることに留意して事業を実施した。

(1)入浴

高齢者に適した湯温管理、浴室内での事故防止に留意し、在宅生活が維持向上できるよう利用者に声かけを行い、洗身、衣類着脱、整容等の入浴動作全般について自律支援を目標に対応し、支援の必要の方について、できるだけ可能な範囲で洗身してもらうよう声かけ支援を行った。

(2)機能訓練およびレクリエーション

利用者の特性に応じて体調管理を行い、融和を図りながら日常生活動作訓練、体、脳を使うレクリエーション等を実施し、楽しみながら身体機能の維持向上できるよう工夫した。内容については、団体でのレクリエーションのほか、個別に取り組める筋力維持及び低下予防につながる運動プログラムを提供し、自己選択自己決定できる環境を作った。

(3)給食

楽しい雰囲気と落ち着いた環境を提供して、利用者に適した材料と季節の旬の食材を献立に取り入れ、個人の体質や好みに合わせた条件を基に、それぞれの要望に応える昼食を提供した。一年を通じ、水分補給用の麦茶を提供し、夏季期間中は経口補水液も追加し、脱水症及び熱中症予防に努めた。また、厨房内外の衛生管理に注意を払い、食中毒の予防に万全を期した。

2 健康管理

送迎時には利用者の状態観察を行い、到着後は体調安定を確認後、血圧、脈拍、体温測定を実施した。利用中、急変時、気分不良や体調悪化がみられ次第、看護師と協議をし、ご家族、ケアマネージャーに報告の上、迅速かつ適切な判断をした。

3 地域との交流

地域のボランティアや社会福祉協議会ボランティア協会を通じての依頼団体、学校・幼稚園などとの交流を重ね、定期的に来所いただける環境を作り、交流を深めた。

4 職員の資質向上

職員を研修実施機関が実施する講習会、研修会等に積極的に参加させるとともに、毎月の職員会議時に職員の意見交換を行い、隔月に独自の職員研修会を実施して職員の資質の向上に努めた。

5 具体的実施状況・利用実績

別紙参照

平成 30 年度 年間行事実施状況

横浜市デイサービスセンター

月 例 行 事	1 誕生会	毎 日	下肢筋力低下予防運動
	2 職員会議 職員研修		通所介護計画実行記録
	3 個別援助計画作成		口腔嚥下体操
	4 屋内外清掃		個別運動プログラム
	5 ステップ運動	年 間	避難訓練(9月、3月)
	6 利用予定カレンダー作成		嗜好調査(6月、2月)
随 時	個別運動プログラム 体重測定 ボランティア受け入れ		
4月	花見(桜)・ボーリング・棒体操・こいのぼり見学・茶話会		
5月	ステップ運動・あやめ見学・園芸教室・頭の体操・タオル体操		
6月	タオル体操・柔軟体操・8020運動・郊外レク(あじさい公園)・ゲーム(雷ゴロゴロ)		
7月	七夕飾り作成・飾り付け・ダンベル体操・買い物レク・風船・シーツバレー・料理教室		
8月	ゲーム(魚釣り)・ダンベル体操・栄養会(焼肉)・園芸工作(金魚飾り)・夏祭り		
9月	ステップ運動・料理教室・郊外レク(霧の蔵)・創作(ツバキ飾り)		
10月	体力測定・身体測定・ミニ運動会・料理教室(わらびもち)・創作活動(飾り)		
11月	タオル体操・陶芸教室・頭の体操・紅葉狩り(山之口)・選択ゲーム		
12月	しめ縄作成・忘年会・陶芸教室・ゲーム・クリスマスケーキ作り		
1月	新年会・福笑い・ダンベル体操・初詣(神柱宮)		
2月	ゲーム(鬼は外)・豆まき・買い物ゲーム・交通安全教室・棒体操		
3月	棒体操・頭の体操・ゲーム(輪投げ)・花見(桜)		

平成30年度 事業別利用人員実績一覧

西岳デイサービスセンター

事業区分	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
介護保険 通所事業	月間利用延人員	190	219	203	215	232	190	215	251	216	193	213	217	2,554	213
	1日平均利用人員	9.0	9.5	9.7	9.8	10.1	9.0	9.8	11.4	10.8	10.2	10.7	9.9		10.0
介護予防 総合事業	月間利用延人員	54	58	54	54	42	40	41	50	48	32	42	51	566	47
	1日平均利用人員	2.6	2.5	2.6	2.5	1.8	1.9	1.9	2.3	2.4	1.7	2.1	2.3		2.2
元気アップ 総合事業	月間利用延人員	4	0	0	4	5	4	7	10	10	11	11	13	79	7
	1日平均利用人員	0.2	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.3	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6		0.3
合 計	開所日数	21	23	21	22	23	21	22	22	20	19	20	22	256	21
	職員体制	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	6	6		5
	月間利用者総数	248	277	257	273	279	234	263	311	274	236	266	281	3,199	267
	1日平均利用人員	11.8	12.0	12.2	12.4	12.1	11.1	12.0	14.1	13.7	12.4	13.3	12.8		12.5

庄内デイサービスセンター

事業区分	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
介護保険 通所事業	月間利用延人員	348	386	338	326	341	281	349	325	319	292	295	333	3,933	328
	1日平均利用人員	16.6	16.8	16.1	14.8	14.8	14.1	15.2	14.8	16.0	14.6	14.8	15.1		15.3
介護予防 通所事業	月間利用延人員	48	65	46	54	66	52	56	51	42	42	57	73	652	54
	1日平均利用人員	2.3	2.8	2.2	2.5	2.9	2.6	2.4	2.3	2.1	2.1	2.9	3.3		2.5
元気アップ デイ事業	月間利用延人員	10	8	7	10	4	4	5	4	4	4	4	2	66	6
	1日平均利用人員	0.5	0.3	0.3	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1		0.3
合 計	開所日数	21	23	21	22	23	20	23	22	20	20	20	22	257	21
	職員体制	8	8	8	8	8	8	8	7	8	8	8	8		8
	月間利用者総数	406	459	391	390	411	337	410	380	365	338	356	408	4,651	388
	1日平均利用人員	19.3	20.0	18.6	17.7	17.9	16.9	17.8	17.3	18.3	16.9	17.8	18.5		18.1

横市デイサービスセンター

事業区分	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
介護保険 通所事業	月間利用延人員	272	281	264	268	277	240	260	268	207	220	211	213	2,981	248
	1日平均利用人員	13.0	12.2	12.6	12.2	12.0	12.0	11.3	12.2	10.4	11.0	10.6	9.7		11.6
介護予防 通所事業	月間利用延人員	66	67	64	68	75	69	71	49	39	43	47	48	706	59
	1日平均利用人員	3.1	2.9	3.0	3.1	3.3	3.5	3.1	2.2	2.0	2.2	2.4	2.2		2.7
元気アップ デイ事業	月間利用延人員	21	25	24	22	21	18	21	22	20	22	24	23	263	22
	1日平均利用人員	1.0	1.1	1.1	1.0	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	1.1	1.2	1.0		1.0
合 計	開所日数	21	23	21	22	23	20	23	22	20	20	20	22	257	21
	職員体制	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8		8
	月間利用者総数	359	373	352	358	373	327	352	339	266	285	282	284	3,950	329
	1日平均利用人員	17.1	16.2	16.8	16.3	16.2	16.4	15.3	15.4	13.3	14.3	14.1	12.9		15.3

地域包括支援センターの概況

都城市志和池・庄内・西岳地区地域包括支援センター

1、運営方針

高齢者及びその家族が住みなれた自宅で安心してその人らしい生活が送れるように、医療と介護の連携、地域ケア会議の推進、生活支援サービスの充実及び向上を図り地域包括ケアシステムの構築と在宅生活の支援に努めた。

介護保険制度の理念に基づき地域包括ケアの中核として円滑な運営を図り、本人の意思及び人格を尊重して自立した生活ができるよう公共性および地域性ならびに協働性の視点に基づいた事業運営に取り組んだ。

2、事業の概要

(1) 総合相談支援

各分野の専門職を配置し、地域における問題を総合的に受け止め、問題解決にむけ関係機関と連携を図り継続的かつ専門的な相談支援体制を構築し、地域の福祉相談の中核としての役割を果たせるよう努めた。

(2) 権利擁護

後見制度に関する周知、消費者被害対応、虐待の防止など高齢者の権利擁護の実践に努めた。関係機関とも連携することで、地域への啓発活動を行い制度の周知啓発に努めた。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対して包括的かつ継続的で適切なサービスが提供されるように、地域ケア会議の開催を通じて、地域団体ならびに専門機関と協働して、地域の多様な社会資源を活用した包括ケア体制の構築に努めた。

(4) 介護予防ケアマネジメント

効率的かつ効果的な介護予防が提供されるよう、適切なケアマネジメントを実施した。介護予防対象者の積極的な把握を行うと同時に、市が推進する地域での介護予防教室の普及に努めた。

(5) ニーズ調査

次期福祉計画のための圏域地域の調査を行いニーズ把握をおこなった。

(6) 認知症地域支援推進事業

認知症地域推進委員を中心に認知症高齢者の把握と支援体制の構築に努めた。

<包括>30年度 実績報告

月	相談件数									ニーズ調査	予防プラン (委託:下段)	こけない 体操教室	多職種 連携 会議
	総合相談	権利擁護	包括的・継続的ケアマネジメント	介護保険申請	福祉サービス	保健医療	介護予防	個別事例会議	計				
4月	62	4	9	21	13	3	10	5	127	33	300 ----- 124	4	14
5月	48	4	6	20	6	2	22	4	112	72	297 ----- 124	15	9
6月	67	3	3	17	10	5	21	6	132	61	298 ----- 137	9	15
7月	70	1	2	29	14	2	20	8	146	63	300 ----- 134	10	15
8月	109	6	8	15	9	10	14	3	174	30	292 ----- 128	8	16
9月	99	5	2	29	12	4	4	1	156	11	291 ----- 124	6	18
10月	117	5	5	25	7	1	8	0	168	88	290 ----- 125	3	22
11月	110	7	2	14	8	7	9	0	157	104	279 ----- 122	4	18
12月	106	6	3	15	2	9	3	0	144	87	283 ----- 123	7	24
1月	113	3	4	21	11	5	2	0	159	187	283 ----- 128	5	16
2月	108	8	2	13	7	4	6	1	149	56	283 ----- 126	9	13
3月	97	9	0	16	11	3	1	0	137	0	282 ----- 122	12	11
合計	1106	61	46	235	110	55	120	28	1761	792	3478 ----- 1517	92	191